

logging buffered 8192 debugging

…ログをバッファに入れるようにする

[ロギングバッファ8192デバギング]

<利用方法>

デバッグ以上のレベルのログがshow loggingコマンドで確認できるようになる

<実行例>

```
Router#conf t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Router (config)#
Router (config)#logging buffered 8192 debugging
Router (config)#
Router (config)#exit
Router#
```

<補足>

このコマンドを実行することでshow loggingコマンドでログが確認できるようになる。デフォルトではオフになっているが、トラブルシューティングの意味も含め、有効にすることが多い。

8192の部分はログバッファのサイズを指定する。メモリサイズにもよるが、一般的には8192や16384あたりしておくことが多い。debuggingの部分もオプションで8つのレベルが選べられるが、通常はdebugレベルにするため、この形で覚えておくとよい。資格試験にはあまり問われないが非常に重要なコマンドである。